

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町営住宅使用料収納事業		基本目標	広域行政の推進			
担当課(局)・係	建設管理課	管理係	記入者	鍋倉健仁	評価者	芥田秀則	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)		町営住宅入居者					
	意図・目的		住宅使用料の収納、滞納分の徴収					
事業の内容	町営住宅入居者の申告に基づく家賃の決定、納付書の発送、収納、督促、催告及び滞納整理。							
22年度決算額	20,371	千円	23年度予算額	20,519	千円	事業従事者数	H22 1.00 人 H23 1.00 人	
主な支出項目	需用費	8,809	千円	国庫支出金	16,050	千円	22年度人件費	7,196 千円
	役務費	3,519	千円	県支出金		千円	23年度人件費	7,137 千円
	委託料	4,119	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	0.0 %
	工事請負費	3,891	千円	一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
			千円	その他	4,469	千円	公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名					
	補助交付団体		補助金要綱					
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A	%				
繰越額		#N/A	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 収納率	滞納者情報について整理を行い、スムーズな徴収業務が遂行できるよう整備を行うことで、収納率を向上させる。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 徴収	文書・電話連絡、個別訪問、納付相談、文書催告を行う。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	収納率	目標値	81,055,200	88,365,000	89,188,700
		実績値	75,802,000	84,389,960	
		達成率	93.5%	95.5%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	督促状発送	目標値			12
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	催告書発送	目標値			4
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	訪問徴収	目標値		4	2
		実績値		2	
		達成率	#DIV/0!	50.0%	

事務事業名	町営住宅使用料収納事業	担当課(局)	建設管理課
-------	-------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
妥当性 (必要性)	公営住宅法に規定された町が直接行う業務	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	滞納者情報について整理を行い、スムーズな徴収業務が遂行できるよう整備を行うことで、収納率を向上させる。	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
		◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	住宅使用料、町税、保育料それぞれ徴収業務があるが、滞納者が重複している例もあり、同一世帯に複数の職員が訪問している状況があるので、情報を一元化し徴収した方が効率が良い。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	なし	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
		合計(最高18点)	12	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
		合計(最高4点)	0
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	徴収業務のある各課と情報を共有し、収納率向上の検討を行い業務を進めていく必要がある。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
					○		
			廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎高額(悪質)滞納者に対する法的手段を含めた取り組み強化をすること。 ◎滞納整理システムの有効活用を図ること。 ◎収納業務だけでなく住宅の管理運営について事務事業とすべきと考える。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	